

次号予告

特集 事業継続計画(BCP)とOR

企業における事業継続の必要性と取り組みについて

宮崎幹也（東京海上日動リスクコンサルティング）

事業継続に向けた効果的な事前/事後対策の選定手法 副島紀代（大林組）

地震発生時の社員収集シミュレーションと出動先最適化 中山香奈子（東京ガス），他

広域緊急災害医療プロセスの調整、指揮統括技法とBCP 神藤 猛（防災科学技術研究所）

パンデミック BCPにおける被害予測の難しさと結果事象の必要性 中澤幸介（新建新聞社）

編集後記

●今月号の特集は「データ解析コンペティション：ファンション CRM」、対象のデータは都市百貨店のID付きPOSデータでした。販売促進やマーケティング、ブランド戦略、顧客視点でのテナントの最適化など、いずれの論文も百貨店業界の発展には欠かせない問題が題材として取り上げられており、大変興味深いものばかりです。

●2007年のサブプライム問題に端を発する米国における住宅バブル崩壊、それがきっかけで引き起こされた2008年のリーマン・ショックなどの影響で、日本国内でも不況が続いており、百貨店業界は業績不振に悩まされています。東京など大都市の老舗百貨店が相次いで閉店に追い込まれたというニュースは、記憶に新しいところです。

●消費者の立場からは、より安価に品物を入手できる量販店や、買い物の時間や場所を問わないネット通販の利用が増えるのは、必然の流れと言えるかもしれません。一方、百貨店業界も生き残るために様々な戦略に打って出ており、合併・再編や、新市場の開拓、取り扱う商品の裾野の拡大など、改革が進んでいます。このような経営判断をする上では、現状をしっかりと分析し、将来のシナリオを定量的・定性的に評価することが重要です。もちろん、データ分析で全てが解決できるというわけではありませんが、今回の特集で扱ったようなOR手法が百貨店をはじめとする小売業の業績向上につながり、景気向上の一助となってくれればいい、と週末賑わう街を歩きながら思いました。

（川田丈浩）

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 牧本直樹（筑波大学）

委員 池邊淑子（東京理科大学）、石井儀光（（独）建築研究所）、恐神貴行（日本アイ・ビー・エム株）、神山直之（中央大学）、川田丈浩（日本電信電話株）、木村新之介（東京ガス株）、草刈君子（株）サイテック・ジャパン）、栗田佳文（防衛省）、小林憲正（東京工業大学）、齋藤彰一（株）構造計画研究所）、高嶋隆太（千葉工業大学）、田島博之（秀明大学）、筒井美樹（財）電力中央研究所）、鳥海重喜（中央大学）、生田目崇（専修大学）、西川武一郎（株）東芝）、渡邊 勇（財）電力中央研究所）

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成23年2月号 第56巻 第2号 通巻602号

代表者 敷 土 文 夫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 牧本直樹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円（本体924円）年間予約購読料11,040円（税込）

●本誌への広告お申し込みは明報社（3546-1337）へ